

事業所名

イッペー

支援プログラム（参考様式）

作成日

2025 年

3 月

31 日

法人（事業所）理念		個別性の尊重を基本に自助が芽生える環境の創造 自助を礎に共助ある地域の創造 共助ある基盤が生み出す共生社会の創造				
支援方針		子どもが学びたくなる環境の実現 (1)安心して過ごし、チャレンジできる環境づくり (2)自らの興味関心に触れる事のできる環境づくり (3)一人ひとりに合わせた学びができる環境づくり				
営業時間		9 時	30 分	18 時	30 分	送迎実施の有無 あり
支 援 内 容						
本人支援	健康・生活	(1)来所時及びサービス提供中の表情や活動状況の観察により、心身の健康状態の把握に努める (2)食事、入浴、排泄、衛生管理等の生活スキルに関するプログラムの実施。感染症予防や口腔衛生、熱中症予防に関する健康指導の実施 (3)サムライ(剣術)教室、ダンス教室、アスレチック遊びや運動 → 基礎体力づくり				
	運動・感覚	(1)サムライ(剣術)教室、ダンス教室、アスレチック遊びや運動 → 関節の動き・筋力・ボディーイメージ・平衡感覚・目と手の協応等の向上 (2)創作活動、ものづくり体験 → 目と手の協応・指先の動き・道具の操作等の向上				
	認知・行動	(1)認知機能（記憶、言語理解、注意、知覚、推論・判断）トレーニング → 覚える、写す、見つける、数える、想像する力の向上 (2)絵本の読み聞かせ → 想像力、集中力、感情を理解する力の向上 (3)個々の認知特性に合わせた学習方法の工夫				
	言語 コミュニケーション	(1)絵本の読み聞かせ → 語彙力、表現力の向上 (2)認知機能（記憶、言語理解、注意、知覚、推論・判断）トレーニング → 理解する力、伝える力の向上 (3)個々の理解に合わせたコミュニケーション手段の選択及びツールの活用				
	人間関係 社会性	(1)遊び（屋内・屋外）→ 仲間づくり、集団への参加（ルール、マナーを身に付ける） (2)子ども仕事プロジェクト（子ども牧場、子ども農場、子ども工房、子ども商店、子ども広報部）→ 役割と役割遂行、他の子どもとの協力、活動を通じた社会参加・交流 (3)外出等の体験機会を通して社会資源の活用 → 公共の場でのルール、マナーを身に付ける				
家族支援		(1)子どもの発達状況や特性等の共有と子育てに関する相談支援 (2)生活習慣や感染症対策、熱中症対策等の健康管理に関する情報発信 (3)親子で楽しめる交流イベントの実施（食事会など）			移行支援	(1)保護者及び学校との情報連携による共通した支援の提供 (2)練習した行動が、日常生活場所で発揮（行動の般化）できる支援 (3)中・高校生に対する職業準備訓練（軽作業、職場見学・体験）
地域支援・地域連携		(1)事業所周辺のクリーン活動、地域住民との交流イベントの実施 →地域住民との顔の見える関係づくり（セーフティネット） (2)学校、相談支援事業所等との情報連携や調整			職員の質の向上	(1)コミュニケーションスキル（サポーターとしての姿勢と態度） (2)障がい・疾患特性の理解 (3)感覚統合の理解 (4)行動機能の理解 ※社内研修(事例検討会)、社外研修を積極的に取入れ資質向上を目指す
主な行事等		(1)季節に関するイベント（進学・進級祝い、ハロウィンパーティー、クリスマス会など） (2)地域交流、親子交流（スポーツ大会、区民運動会、食事会など） ※子ども会議（計画、準備、振り返り）を基に実施				